

このたびは「スウィーパー・ベガ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

警告 気をつける必要があることを表しています

禁止 してはいけないことを表しています。

必須 しなければならないことを表しています。

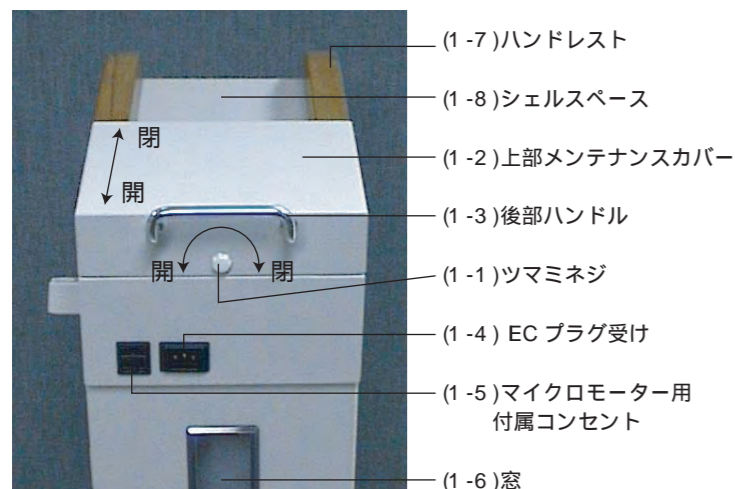
警告	
!	設置・メンテナンス・フィルター交換等は電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。重大な事故の原因となることがあります。
⊘	火気の近くで使用しないでください。引火等を起し、重大事故の原因となることがあります。
⊘	エアブローを顔や目又は炎に向けて使用しないでください。重大事故の原因となることがあります。

注意	
!	電源コンセントは、100V、15A以上の単独（接地）コンセントを使用してください。
⊘	マイクロモーター用付属コンセントに、100V、2A以上の機器を接続しないでください。
⊘	エアブローの吐出を物理的に制御しないでください。ON-OFFは必ず電源スイッチで行ってください。
!	発熱・異常音がある場合は、直ちに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。購入先又は弊社に相談ください。

その他の注意事項	
!	分解は絶対にしないでください。アース（接地）は必ずとってください。電源プラグをコンセントに接続する時は電源スイッチはOFFにしてください。本機を傾けて使用しないでください。傾いた状態で、移動しないでください。また、床上の凹凸に注意してください。キャスターが破損する恐れがあります。移動時は電源コードに注意してください。マイクロモーター搭載時は、本機から落下させないように注意してください。特に移動時は注意してください。濡れた手でスイッチ・ライト等電気系統に触れないでください。使い捨てフィルターは、口を専用シールで封じて、処理してください。フィルター交換時は、マスク・手袋等を着用してください。廃棄の場合は、焼却しないで下さい。専門業者に委託してください。

各部の名称と準備

図1：後方図



- 準備1**
- (1-1) ツマミネジを反時計周りに回し、外します。
* 紛失しないよう気をつけてください。
 - (1-2) 上部メンテナンスカバーを後方に引き、持ち上げます。
 - (1-8) シェルスペースにシェルを置きます。図2へ

以下 狭い中での作業になります。ケガをしないよう、十分気をつけてください。

- (2-7) ライト用電源アダプターを専用コンセントに差し込みます。
- (2-2) ライト用接続コネクタをシェルのプラグ受けに差し込みます。
- (2-5) 排気ホースをシェルに接続します。
- (2-6) エアーチューブをシェルの(2-3)チューブコネクタの奥まで差し込みます。

テスト
全てのスイッチがOFFになっていることを確認します。

付属の電源コードの(4-4)ECソケットを(1-4)ECプラグ受けの奥まで完全に差し込みます。

(4-2)電源プラグをコンセントに差し込みます。
必要に応じ(4-1)電源アダプタを使用します。

(3-11) エアーポンプ用スイッチをONにします。
エアーが正常に吐出されているか確認します。
エアー漏れが無いを確認します。

(3-F) ライト用スイッチをONにします。
点灯を確認します。
点灯しない場合は接続が確実に行われているか点検してください。

全てのスイッチをONにしても、何も作動していない場合は、電源コードが確実に接続されているか、確認してください。

準備2
(5-1) 上部メンテナンスカバーの爪を(2-4)受口に合わせ、前方方向に押し込みます。
(1-1) ツマミを時計周りに回し、上部メンテナンスカバーを固定します。

準備3
(3-1) マイクロモーター用HP掛けをドライバーを用いて取付けます。
マイクロモーターのコントローラーを上部メンテナンスカバーの上に乗せる場合は落下しないよう対策をとってください。
電源は(1-5) 付属コンセントからとれます。

電源コードの容量は、100V、7Aです。
付属コンセントから100V、2A以上の機器に接続する場合は、ご相談ください。

準備4
必要に応じ、付属のコーナー用アングルゴムをベースの角に貼ります。
他の機器、設備等への衝突緩衝用です。
図6及び図7参照。

図2：シェルと各部を接続した状態



図3：全体図

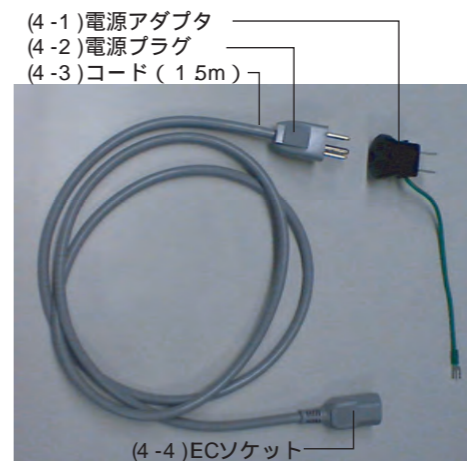


図4：電源コード

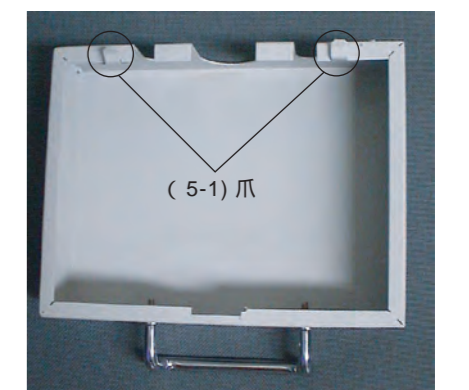


図5：上部メンテナンスカバーの裏

扉（図8参照）
正面扉及び背面扉は天地2個のマグネットキャッチで保持されています。
「手掛け」に手を掛け、扉を開けてください。

バックフィルター
(3-2 背面扉を開きます。
内部下方にバックフィルターがあります。下から図9から図12と順番に置かれています。
輸送中、移動していないか確認してください。

カセットフィルターを交換しても、吸引力が弱いときは、バックフィルターが詰まっている可能性が有ります。掃除又は交換してください。
バックフィルターを外しての本機の使用はしないでください。

カセットフィルター
(図13から図16参照)
<着脱方法>

カセットフィルターの口をガイドに挿入し、上部方向に持ち上げて、ヘッダーが爪部に引っかかるように、セットします。飛散防止用シールが見えるように、セットしてください。
レバーを押すと、プッシャーとの連係で、ヘッダーが爪部から外れます。重量が軽い場合は、自然落下しませんので、引き降ろしてください。
使用後は、ヘッダー部の汚れを取ってから、飛散防止用シールでカセットフィルターの口を封じてください。
吸引力が落ちてきたら、袋部を少し叩いて粉塵を（袋下方に）落とすと改善されます。
フィルター材質には抗菌性・消臭性の材料を使用していますがフィルターが詰まると効果落ちます。
その他の要因を含め早めの交換をお勧め致します。

正面扉内部（図17参照）
正面扉内部棚下は、エアポンプ・バキュームコントローラー及びヒューズが収納されています。ドライバー等を用いて、棚板を外さないでください。
棚上は予備のフィルター等が収納できますが、配線・配管等に十分気をつけてください。

ヒューズ（図18参照）
他に原因が無く、電源が入らない場合はヒューズが切れている可能性があります。図18の要領でヒューズを外し、切れているか確認してください。切れている場合は何らかの切れる原因があります。その原因を取り除いてから新しいヒューズと交換してください。

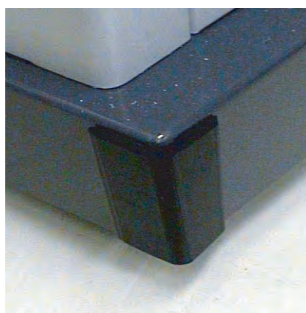


図7: ベース後方 貼付け例



図13: セットされた状態



図14: ヘッダーと爪部の接続部分

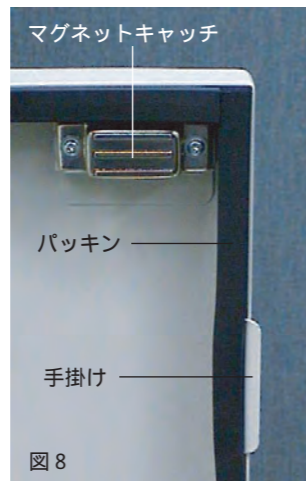


図8: マグネットキャッチ、パッキン、手掛けの内部構造

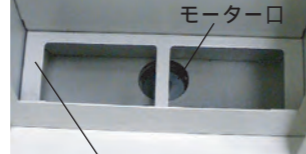


図9: バックフィルター用台（ネットを受けます）



図10: ネット（フィルターを受けます）



図11: バックフィルター（表裏に注意）

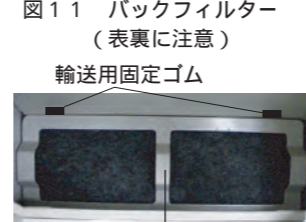


図12: カバー（押さえます）

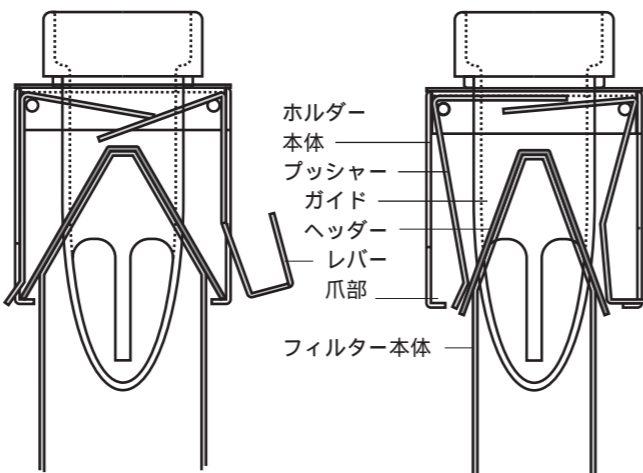


図15: セット時 図16: 着脱時

注意 カセットフィルターを外すときは、マスク・防塵メガネ・手袋等を使用してください。カセットフィルターを外すときは、ヘッダー部を持って行ってください。袋部を持つと、フィゴ状態になり、粉塵が口から吹き出す可能性があります。カセットフィルターは再使用禁止です。（一度ガイドから外したものは、口の部分が損傷している恐れがあります。）使用済みのフィルターは医療廃棄物等の適切な処理をお願いいたします。



図17: 正面扉内部のヒューズと配線

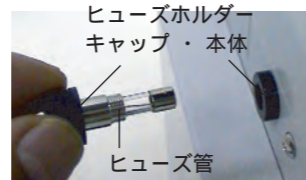


図18: ヒューズホルダーとヒューズ管の交換方法



図19: 悪い例

全てのスイッチをOFFの位置にする。電源プラグをコンセントから取り外す。キャップを左に回し、引き抜きます。新しいヒューズ管（15A）と交換し、元に戻します。ヒューズ管を本体に直接挿入することは絶対しないで下さい。（図19: 悪い例）
また、濡れた手で絶対触れないでください。できるだけ専門の修理業者にお任せください。

シェル

サイドパネルの取り付け（図20参照）
パネルは本体（カプセル）にファスナーで固定されています。位置の移動は、パネルをカプセルから剥がしてください。任意の位置でファスナー部を押さえて固定します。
*位置の変更時はファネルを外してください。

ファネル・フィルター（図21参照）
ファネルは本体ベースの取付孔に垂直方向に抜き差しします。爪を破損しない様に慎重に行ってください。本体から抜き出すときは、ファネル上部の把手部を利用して下さい。フィルターはファネルの取付孔に対し水平に奥まで挿入し、下方方向に回転して取り付けます。取り外す時は逆運動させます。
*ファネルの材質はABS系持続制電性樹脂です。

フロントパネル（図22参照）
フロントパネルは、傷が付きにくい表面特殊硬化処理を施した耐摩耗性アクリル板を使用していますが、粉塵が付着した状態で擦りますと表面に傷が生じることが有りますのでご注意ください。フロントパネルは交換部品として別売しています。開梱時はすでに本体（カプセル）に取り付けられています。ブランジャーを引き上げると、本体から取り外すことが出来ます。再度取り付ける際は、パネル下側を本体の溝に押しつけながら、グロメットを本体のラッチ孔に真直ぐ差し込み、ブランジャーを押し込みます。

ライト（図23参照）
ランプは長寿命・省エネの冷陰極蛍光灯です。点灯方式はインバーター（高周波点灯）方式です。（図3-F）スイッチでON・OFFの操作を行ってください。ランプ寿命は約4年（保証期間2年）です。

注意 器具内には高圧電流が流れています。絶対に分解しないでください。ランプ交換は、メーカー対応（有償）です。

<照明器具本体の取り付け方法>
取付金具を本体カプセルの上にして、片一方の端を本体カプセルの取付孔に押しつけるようにして、もう一方の端を押し込みます。電源ソケットに本体側の電源プラグを差し込んでください。

エアブロー
コネクタからノズルの間は65mmの小半径まで曲げられます。それ以上曲げると切り離されます。強く押し込みますと、再び接続することができます。ホースコイル部を短くする場合は、前述の操作を行い、1~2個のコイルを外します。エア量は調節できません。常に開放状態にしておいてください。

ご注意 作業開始時は、吸塵ON エア-ONの順に。作業終了時は、エア-OFF 吸塵-OFFの順に操作してください。逆流防止のためです。エア-吐出時は、常に吸塵するようにしてください。

本体（ベース&カプセル）
ベース材質はABS系持続制電性樹脂で、持続的且つ、高性能な帯電防止効果が得られます。カプセルはベースと接着されています。

スブラッシュボード
カプセル正面前部に粉塵はね止め用として貼り付けられています。力を加えないでください。

ハンドレスト
「スウィーパー・ベガ」に組み込まれています。材質は木製で、表面はオイル仕上げです。お手入れは柔らかい布で水拭き程度にしてください。横方向にねじらないでください。ハンドレストを持っての本体の移動はしないでください。



図20: サイドパネルの取り付け

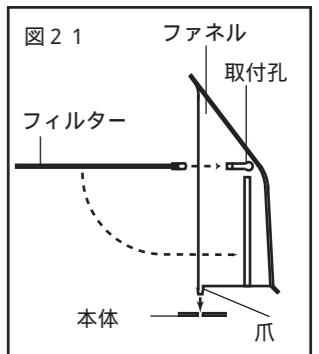


図21: ファネルとフィルターの取り付け位置図

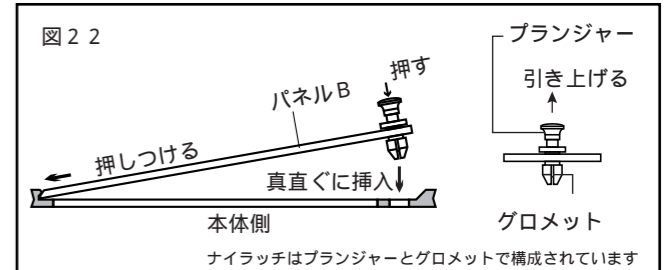


図22: フロントパネルの取り付けとブランジャーの操作

*別売のレンズを使用する場合は、レンズ取付用ガイド付のフロントパネルと交換してください。

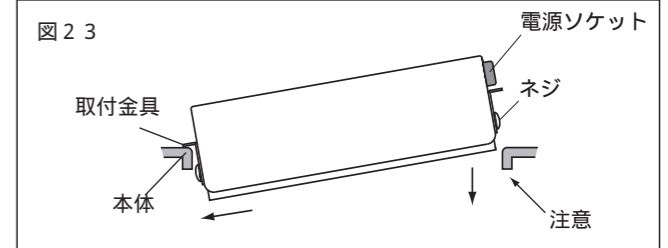


図23: ランプの取り付けと電源ソケットの接続

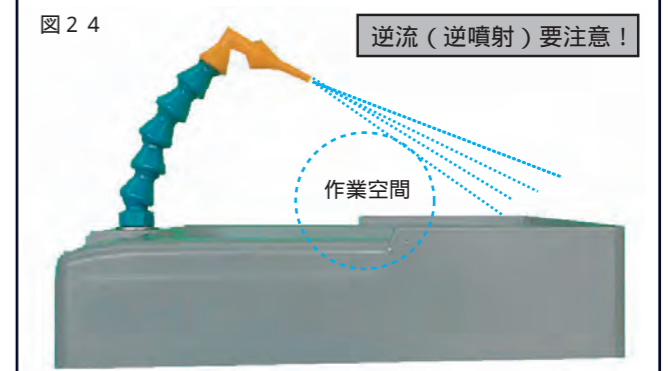


図24: エアブローの逆流防止と作業空間の確保

逆流（逆噴射）要注意！
エアーを研削物のやや上方に通過させ吸塵口の方向に当てるようにします。当てる角度により粉塵がはねかえる場合がありますので、ご注意ください。

バキュームについて

コントロールパネルの電源スイッチでON-OFFを行います。ポリウムで強弱を無段階で調整できます。安全のため、タイマーがついています。スイッチONから約1秒後、ポリウム設定の回転数で作動します。どの段階で電力投入しても大丈夫です。前作業時の設定で作業できます。

スウィーパー・ベガの本体には、ところどころ隙間があります。これは、フィルターが詰まったまま使用した場合など、モーターに負担が掛かった時、安全のためのバイパスになるものです。また、棚の配線用の切り込みから、エアポンプ用の空気も取り入れています。これらを塞がないでください。

お手入れの方法

フロントパネル及びレンズ（別売）は、市販のレンズクリーナー又はガラスクリーナーをご使用ください。
その他の部分は半乾きの柔らかい布で拭いてください。
シンナー等の有機溶剤は決して使用しないでください。
家庭用洗剤を使用する場合は中性洗剤のみとして、後で水拭きを行い、洗剤成分を残さないようにしてください。
研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。
シェルは水洗いはできません。

仕様

寸法：右図参照 重量：約26Kg

電源コード；3P（接地）プラグ+コード1.5m+ ECソケット
定格=100V, 7A

出力コンセント；
上部メンテナンス室内にライト用
外部にマイクロモーター用として3P接地（2Aまで）

ヒューズ： 6×30mm 250V×1.5A（予備1本付）

バキューム機能（無段階ボリューム調整のため実測参考値）
電圧 周波数 電流（A） 入力（W）
AC100V 50Hz 4.1~5.1 290~450
AC100V 60Hz 3.2~4.8 190~400
（ポンプ機能併用のため風量・静圧は測定不能）
使用モーター；整流子ブロワモーター SDW600M
コントローラー；オリジナル

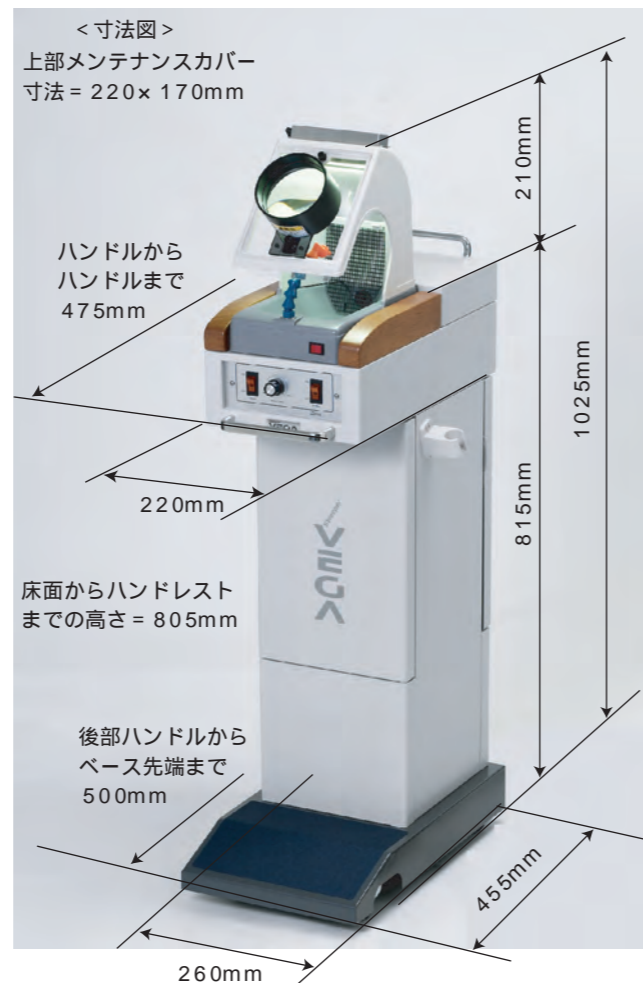
ポンプ機能
電圧 周波数 電流 入力 風量 最大圧力
AC100V 50Hz 0.31A 12.5W 15.0(L/m³/h) 22.1Kpa
AC100V 60Hz 0.28A 19.5W 19.5(L/m³/h) 26.0Kpa
使用ポンプ；電磁振動型エアポンプ GP-15

照明
適合ランプ；冷陰極蛍光灯 CF110T4EN
点灯方式；高周波発信方式（インバーター方式）
電圧；AC100V 50/60Hz（アダプター使用）
負荷出力；DC12V
消費電力；6W（ランプ消費電力 2W）
ランプ寿命；約4年（保証2年）

フィルター機能
シェル用フィルター；樹脂ネット
カセットフィルター（使い捨て・予備2枚付）
1層目 初期捕集用 抗アレルギー不織布
2層目 粗粉捕集用 消臭・抗菌性不織布
3層目 微粉捕集用 超高性能フィルター
4層目 外部補強用 長繊維不織布
*捕集能力（実測参考値）
粒子サイズ 風速=0.2m/sec 風速=0.4m/sec
0.3-0.5μm 78% 74%
0.5-1.0μm 82% 80%
バックフィルター
3層フィルター（使い捨て・予備1枚付） 最終微細粉捕集用

騒音値（距離1.5m×高さ1.0m地点 実測値）
50db~60db

キャスター
前後輪；プレス自在キャスター 50 ゴム車

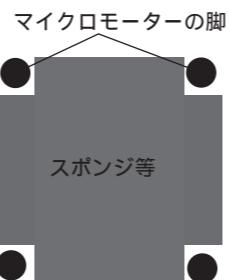


ヒント

汎用機のため、機能として設備できませんでしたが、こんな方法もあります。

フロントパネルの角度を変える。
シェルのベースの下に、板等を挟む。

マイクロモーターのコントローラーの落下防止。
スポンジ・ゴム等を右図の様に切り、上部メンテナンスカバーに貼る。
縦型で不安定な場合は、適当な容器を貼り、その中に入れる。



マイクロモーターのフットスイッチの固定方法。
フットスイッチの側面に強めのマグネットを貼って、スウィーパー・ベガのベースにくっつける。

別売品

レンズ
フロントパネル付 106-194 ￥10,000

交換用フロントパネル
レンズ付用 ￥2,500
レンズ無用 ￥2,000

交換用フィルター
カセットフィルター 3枚入 ￥6,000
バックフィルター 3枚入 ￥1,000

無料修理規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買い上げの販売店または弊社が無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句が書替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) 使用目的以外での使用による故障および損傷。
 - (7) 消耗した部品の交換および（フロントパネルの傷等の）使用上やむ負えず発生する損傷。
 - (8) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
4. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

保証書

品名：スウィーパー・ベガ	製造番号	検査合格印
お買い上げ日： 年 月 日		
保証期間：お買い上げ日より1年間（蛍光灯は2年間）		

本書は、本書記載内容（無償修理規定）で無償修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から、上記記載期間中に故障が発生した場合、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。

（お客様住所）〒	（販売店 印）
（電話番号）	
（お名前）	